

熱電対用避雷器

形式

RF-TC

熱電対用

用途

熱電対 照度計 などのmV電圧信号
 潮位計 などのDC0-1V電圧信号

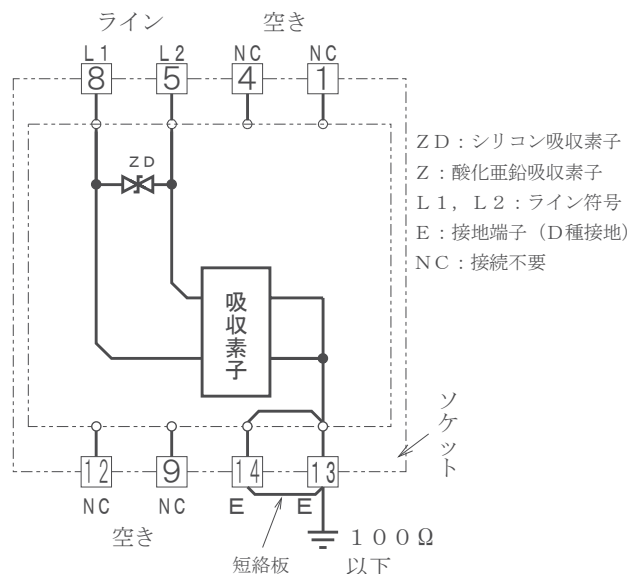
性能

形式	RF-TC	
最大連続使用電圧 (Uc)	線間	DC7V
	各線接地間	DC150V
漏れ電流	線間	1μA以下 (DC1Vにて)
	各線接地間	1μA以下 (最大連続使用電圧にて)
制限電圧	線間	16V以下 (8/20μs)
インパルス電流 (Imax)	10kA (8/20μs)	
インパルス耐持久性	カテゴリC2	8/20μs 5kA (10回)
	カテゴリD1	10/350μs 2.5kA (2回)
動作開始電圧	線間	DC8~10V
	各線接地間	DC184~276V
応答時間	4ns	

特長

- ・サージ吸収能力が大きく、応答速度が早い。
- ・DINレールに取り付け可能です。
- ・並列接続で追加取り付け工事も簡単です。
- ・エレメント部をはずしても信号は途切れません。
- ・省スペースでしかも軽量です。

ブロックダイアグラム



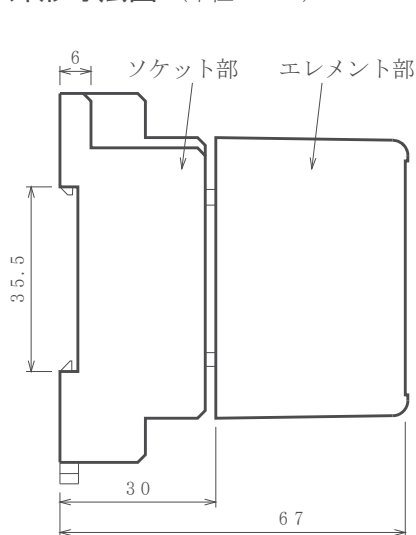
設置仕様

使用温度範囲: -10~+60℃
 使用湿度範囲: 5~90%RH以下 (結露しないこと)
 寸法: W22×H71×D67
 重量: 約65g
 RoHS指令: 適合
 JIS対応: JIS C 5381-21 カテゴリC2, D1

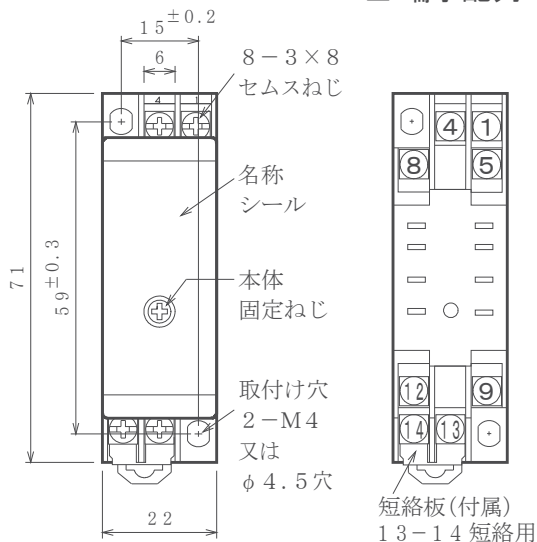
ソケット仕様 (標準付属品)

形式: PYF08A
 構造: プラグイン構造
 接続方式: M3ねじ端子接続 (締付トルク1.2N・m以下)
 端子ねじ材質: 鉄にクロメート
 ハウジング材質: 黒色プラスチック (難燃性)
 取付: 直取付けまたはDINレール取付け (35mm巾)

外形寸法図 (単位: mm)

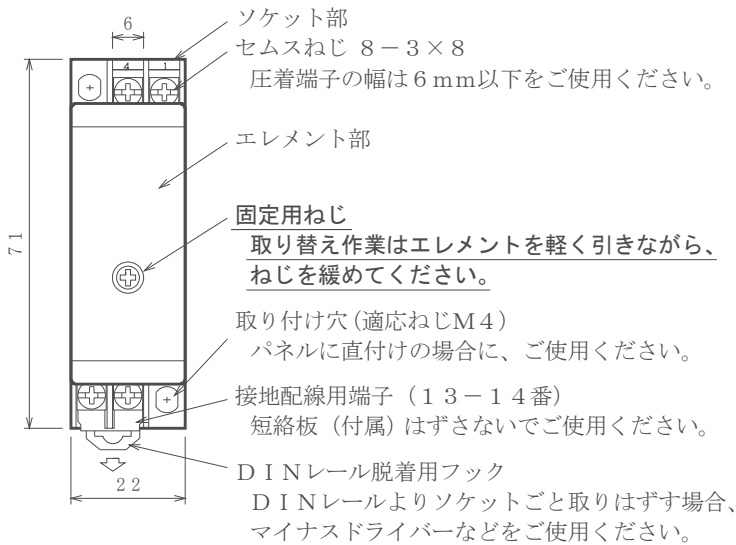


端子配列

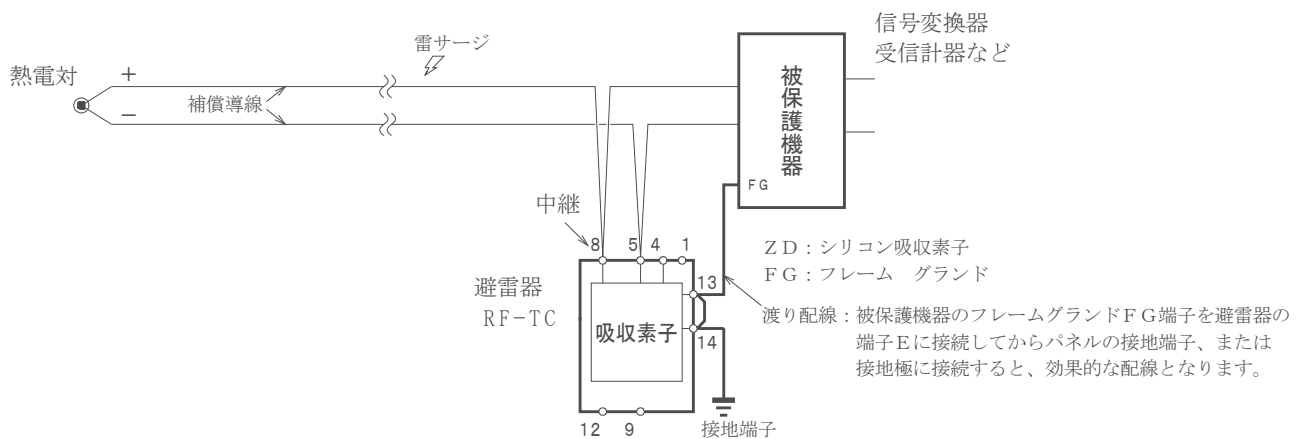


端子名称	番号	符号
ライン 並列接続	8	D1
	5	D2
空き	12	NC
	9	NC
接地	13-14	E
空き	4	NC
	1	NC

■ 各部名称 (単位: mm)



■ 接続例



■ 接続方法

- 1) ライン端子L1, L2の極性指定はありません。
接続例のように補償導線をソケットの端子で中継する要領で配線してください。
- 2) 接地工事はD種接地 (100Ω以下) にて必ずおこなってください。
接地線はできる限り最短距離で2mm²以上を使用して、避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けてください。
- 3) 被保護機器にフレームグランド (FG) のない場合は、避雷器のみ接地をおこなってください。

■ 使用上の注意事項

- 1) 取り付け時、形式の確認をおこなってください。ソケットにエレメントの形式を表示しています。
- 2) 耐圧試験や絶縁試験はサージ吸収素子の劣化原因になりますので、おこなわないでください。

■ 定期点検の方法

- ・わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。
- ・避雷器の点検は専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。
ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。